

## 「内之浦小学校の南方棒踊り伝承活動の取組」

### 1 学校名

肝付町立内之浦小学校

### 2 学年・人数

4年生から6年生（8人・12人・16人 計36人）

### 3 日時・場所

#### (1) 練習の日時・場所

令和4年10月～11月 総合的学習の時間（本校体育館）

令和4年11月10日（木） 発表会リハーサル（銀河アリーナ）

#### (2) 発表の日時・場所

令和4年11月12日（土） 内之浦小学校創立150周年記念事業式典オープニング

### 4 伝承・活用に取り組んでいる郷土芸能について

#### (1) 名称

南方棒踊り（みなみかたぼうおどり）

#### (2) 由来

薩摩藩が農民武装のため、棒、小太刀、鎌など農民が自由に得られる物を用いて、攻撃や防御ができるように、武芸を踊りの形で仕込んだものと言われている。北方、南方、岸良東、岸良西にそれぞれの踊りがある。

南方棒踊りには、女性が長刀を持ち踊る「長刀踊り」と男性が勇壮激烈に踊る「棒踊り」がある。

#### (3) 構成等

「長刀踊り」は、長刀を持ち、2列に並び踊る。

「棒踊り」は、木剣と六尺棒を持って「片竿」と呼ばれる踊りを行った後に、木剣の二人を中心に六尺棒の四人が両側に並んで、攻撃と受け身の激しい動作を繰り返しながら踊る「六人がらみ」がある。

### 5 保存会や地域との連携の具体

郷土芸能の伝承は、過疎地の抱える課題でもあった。その対策として、「南方棒踊り保存会」は、昭和63年から小学校5・6年生に郷土芸能の伝承活動の取組を始めた。

現在、総合的な学習の時間に「南方棒踊り保存会」の方々をはじめ、元内之浦町連合青年団の方々より、踊りの歴史についての講話を聞き、踊りの実技指導を受けている。

### 6 文化財伝承・活用の取組の工夫した点

総合的な学習の時間で週1回、午後2時間ずつ延べ5回練習する計画のもと、指導者の元内之浦町連合青年団の方々の仕事の都合を考慮したローテーションを組み、1回の練習に5～10人の指導者の確保をいただいている。

保護者や地域の方々に見ただけのよう、運動会や学習発表会を披露する発表の場としている。

## 7 取組の様子（練習状況、発表の場等）



長刀踊りの練習



棒踊りの練習



発表

## 8 参加児童生徒・保護者・保存会・教員等の感想・意見

### 【児童】

- ・ 最初は難しく感じていましたが、練習を重ねるうちにうまくできるようになり、楽しく練習ができました。
- ・ 創立150周年記念事業式典のオープニングで、銀河アリーナで踊ることができて、大切な思い出ができました。

### 【保護者】

創立150周年記念事業式典のオープニングで、親子三代で踊る機会に恵まれ、とても誇らしい気持ちでした。

### 【保存会】

昭和63年度から、郷土芸能の伝承活動に取り組み、学校の協力の下、連綿として引き続き行われていることに感謝している。特に今年は、内之浦小学校創立150周年記念事業にてオープニングで踊ることから、元内之浦町連合青年団及び内之浦小学校卒業生も子供たちと踊り、伝統が引き継がれていくことを実感しました。